

赤レンガの20年

横浜赤レンガ倉庫は、新港埠頭の上屋施設として2号館倉庫が明治44年、1号倉庫が大正2年に建設されました。当時の最新技術が導入された国の模範倉庫でした。

そして「港の賑わいと文化を想像する空間」を事業コンセプトとして整備され、平成14年4月、新たな文化・商業施設としてオープンしました。

この頃(1994年～1999年)赤レンガ倉庫は、1、2号倉庫の構造補強、屋根・外壁・開口部等を改修する「保存工事」を実施していました。

横浜市は1992年(平成4年)3月に国から赤レンガ倉庫を取得し、屋根・外壁の補修工事、構造補強工事を行っていました。

20年前



現在

現在、赤レンガ倉庫は、2002年4月に文化・商業施設としてオープンしてから、16年以上が経過しており、現在では年間600万人以上が訪れる人気の場所となっています。

